

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 31 日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出 (野生いのしし 131-138 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=2ps4rA4tsji4ALGxGeSSwLdq.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1278615&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道（キョンギド）坡州市（パジューシ）津東面（チンドンミョン）および漣川郡（ヨンチョングン）で発見された野生いのしし死体 2 個体と江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）で発見された野生いのしし死体 6 個体から ASF ウイルスが検出されたと 1 月 31 日明らかにした。

1 月 27 日坡州市で発見された死体と 1 月 29 日漣川郡で発見された死体は、全て農業経営者によって山の斜面で発見され、1 月 29 日華川郡豊山里（プンサンリ）で発見された死体 3 個体と 1 月 30 日華川郡で発見された死体 3 個体は、全て山を搜索した環境部搜索チームによって発見された。

坡州市、漣川郡および華川郡は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

国立環境科学院は 1 月 31 日死体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。野生いのししでの ASF 陽性事例は、全国的で 138 件になった。

国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回の死体は全部広域フェンスの中で発見され、最近陽性個体を発見した地点と近接している”として、“この地域では感染した死体がさらに出てくる可能性があるため、搜索を徹底している”と話した。

以上